

2026年

2月26日(木)

15:00~17:00

会場 おおさかATCグリーンエコプラザ
および Zoom

(大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟11階)

定員 会場 50 名・Zoom 100名

参加費 一般3,000円/エコプラザ出展社無料

カーボンニュートラルに向けた 圧縮空気設備の省エネ手法

カーボンニュートラルの実現に向けて、衛生設備分野においても省エネに関する取り組みが様々な施設の設備で検討され、システムや運用の改善を行い、設定した目標を達成すべく試行錯誤がなされている。しかし、ある程度の削減まで進んだ時点で次の対策が手詰まりになり苦慮されている関係者からの悩みの声は、特に消費電力が多い生産施設で年々増えているように感じる。そこで、生産施設の全消費電力量の30%から40%までを占める場合もあるにもかかわらず、システム設計が明確に確立されていない部分が多く、慣例や経験に基づき行われることが多い圧縮空気設備の省エネ手法をテーマとして企画した。基本的な手法について振り返り、一般的な省エネ手法からもう一步踏みこんだ手法について紹介いただくことで、出来る対策がないかを見直し、見落としとしていた着眼点への気づきが得られるような機会としたい。

1. コンプレッサー設備の設備構成・運用面の省エネ手法

報告者: 樋口 厳宏氏 (SMC株式会社)

内容: 圧縮空気設備の省エネ手法にはコンプレッサーを高効率機種とするなどの機器の特性によるもの以外に配管の取り回し、機器の配置や吐出圧設定、及びコンプレッサーが設置される環境の見直しなどから可能な省エネ手法がある。それらのポイントとエネルギー削減効果を紹介する。

2. コンプレッサー設備のエネルギー効率向上手法

報告者: 明石 和起氏 (株式会社 日立産機システム)

内容: 一般的に省エネ対策として、節電とは異なるアプローチからの検討が必要になった場合、検討事項の一つとしてシステム全体のエネルギー効率改善があげられる。圧縮空気設備の場合、コンプレッサーの排熱を有効利用出来れば改善が見込める。この講演では、そこに着目した排熱回収システムについて仕組み、導入方法、メリット等について解説す。

主催: おおさかATCグリーンエコプラザ実行委員会 (大阪市、アジア太平洋トレードセンター(株)、日本経済新聞社) 共催: (公社) 空気調和・衛生工学会近畿支部

ホームページからお申し込みください

<http://www.ecoplaza.gr.jp/seminar>の対象セミナーページから必要事項をご入力の上、申込みください。



※お申し込みについて…こちらのセミナーにお申し込みいただくには会員登録が必要です。一度会員登録していただきますと、会員限定セミナー申込時の情報入力の手間が省けます。



おおさかATCグリーンエコプラザ

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ITM棟11階

最寄駅: ニュートラム

トレードセンター前駅直結

<https://www.ecoplaza.gr.jp>

ATCグリーンエコプラザ

検索